

●● はじめに

本調査は1997年9月から10月にかけて、首都圏に居住する、園児から小学校2年生までの子どもを育てている4,766名の保護者の方に答えていただいたアンケートを分析したものです。現在、子育ての真っ只中にある保護者（主として母親）のしつけや教育に関する意識を幅広くつかむことを目的に調査を行いました。

第1章では、毎日の子育て生活に焦点を絞り、その中でお母さんたちがどんなことに悩み、だれを相談相手にしているのか、どんなときに子育ての楽しさを感じるのかを分析しています。

第2章では、母親のしつけ観や子どもとのかわり方、将来への期待、習い事の現状など、教育やしつけにかかわる意識を分析しています。

第3章では、現在の母親の生活や活動全般に注目し、その中で子育ての位置づけや母親としての満足度がどうなっているのかをみていきました。

家庭教育の重要性が指摘されるなかで、ともすれば、今を生きるお母さんたちの生活実感とはやや離れた「あるべき論」が提唱されることがあります。が、まず実際の姿をとらえ、問題があるとすれば、そこから解決策をともに考えていくことが必要かと思ひ、今回の調査を企画しました。このレポートがこれからの子育ての環境をととのえ、子育てにかかわる保護者の方々を支援していく手がかりとなっていくことを願ってやみません。

1998年3月

ベネッセ教育研究所
保護者支援セクション一同